



▲写真は、役場所有（撮影時期不明）

## 七夕市と精霊迎え

この写真は、上町通りの七夕市の風景です。

江戸時代中期にはじまったといわれる七夕市は、旧暦の七夕に行われていました。

七夕市では、日用雑貨やお盆用品のちようちんなどの出店がずらりと並び行き交う人で賑わっていました。

昭和45年から、商工会が中心となり七夕飾りコンクールがはじめられ、昭和53年からみこしやお踊りなどでねり歩く七夕祭りに変わっていきました。

七夕の日は『精霊迎え』と『酒上げ』の行事があります。

この『精霊迎え』は、江戸時代の末期、月笑寺（月笑寺は心慶寺の隠居寺で二代目住職鷹岳宗俊和尚が建立）にいた五代目住職禅勇健剛和尚が呼びかけをはじめたものと言われています。

禅勇健剛和尚は、「この地蔵様は極楽の入口である。七夕の日に、精霊様（せろさまー先祖の霊）は、みんなの家に帰るために出発される。地蔵様はそれをお迎えのため極楽に行かれる。私のうちに精霊様も忘れないで、ぜひ、連れてきてくださいとお願いするように。」と民衆に説教したそうです。

その頃から、初盆の家庭があると親類や集落の人たちが一緒に参詣し、『精霊迎え』を行うようになりました。

そして『精霊迎え』が終わると初盆の家庭をなぐさめる『こ酒上げ』という行事が行われ、上町から三文字の飲食店はもとより民家もこの人たちのために部屋を開放していたそうです。

いまでもこの『地蔵参り』は続いており、7月7日と8月7日には多くの人々が参拝に訪れます。

七夕市は、しばらくの間途絶えていましたが、昨年、大崎町商工会が中心となり『大崎七夕さあ』として復活し、今年も地域に元気を届けようと8月4日の開催に向けて準備が進められています。

## 古い写真を探しています！

\*大崎町内の昔懐かしい風景や、建物、まつりなどの古い写真を随時募集します。詳しくは、下記問い合わせ先まで連絡下さい。

\*広報担当が自宅までお伺いします。



【お問い合わせ先】

大崎町役場

企画調整課 企画広報係 ☎ 476-1111(223)